

# 2019年度 事業報告書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

特定非営利活動法人ファクトチェック・イニシアティブ

## 第1 事業の成果

当法人は、本年度も、誤った情報に惑わされない社会に向けて、日本国内のファクトチェックの普及啓発するための各種事業を実施しました。

本年度の主な成果は以下のとおりです（特に断りがない場合、日付は2019年です）。

### (1) 情報発信・啓発

#### ①ウェブサイト等による情報発信

- 6月：FIJの公式ウェブサイト（fij.info）を全面刷新しました。
  - メディアパートナーによるファクトチェック記事が6ヶ月間で計37本発表され、要旨をFIJサイトに掲載しました。
- 11月～：gooニュース／dmenuニュースにファクトチェックの紹介記事など計20本の記事を配信しました。
- 20年2月～：新型コロナウイルス特設サイトを開設しました。
  - 特設サイトは大きな反響を呼び、Yahoo!ニュース、LINEニュース、グノシー、gooニュースに掲載されました。
  - サイトへのアクセスは、362万PV（7月～20年3月）、月間平均51.7万PV。新型コロナ特設サイト開設以後に急増し、2月に約150万PV、3月に約200万PVに達しました。

### (2) 市民・メディアとの連携・協働

#### ①メディアパートナーの募集

- 4月～：メディアパートナーの募集を始め、5月下旬に国内外12団体の加盟を発表しました。
  - 20年3月までに計16団体（うち、海外4団体）となりました。
  - 国内
    - （\*印 ファクトチェック記事を発表する予定のメディア）
      - スマートニュース（SmartNews）
      - 東北大学乾・鈴木研究室
      - スペクティ（Spectee）
      - バズフィードジャパン（BuzzFeed Japan）\*
      - ジャパンインデプス（Japan In-dpeth）\*
      - 食の安全と安心を科学する会（SFSS）\*
      - インファクト（INFACT）（旧ニュースのタネ）\*
      - 琉球新報\*
      - Wasegg\*
      - 中京テレビ（CTV）\*
      - ミエルカ（Mielka）
      - 毎日新聞\*

- 海外
  - 国際ファクトチェックネットワーク（IFCN）
  - ポリティファクト（PolitiFact）＊
  - 台湾ファクトチェックセンター＊
  - アニーラボ（Annie Lab）＊

## ②参議院議員選挙ファクトチェック・プロジェクト

- 7月：FIJが参院選ファクトチェックへの参加を呼びかけを行い、4社のメディアパートナー（琉球新報、BuzzFeed Japan、INFACT、Wasegg）が計9本のファクトチェック記事を発表しました（参院選特設ページに掲載）。

## ③新型コロナウイルス国際協力プロジェクト

- 20年2月～：IFCNの新型コロナウイルスに関するファクトチェックのデータベース構築にFIJも協力した結果、国内のメディアパートナー（BuzzFeed Japan、INFACT）のファクトチェック記事要旨（英訳）がIFCNのデータベースサイトに掲載されました。
- 20年3月～：海外のファクトチェック団体との調査連携に取り組み、以下の事案で成果が出ました（＊印は20年度の成果）。
  - 台湾ファクトチェックセンターのファクトチェック（河野防衛相を騙ったツイート）の調査に協力→3月13日記事化
  - MyGoPen（台湾）のファクトチェック（安倍首相に関する捏造画像を含むネット情報）の調査に協力→3月22日記事化
  - BOOM（インド）のファクトチェック（本庶教授を騙った情報）の調査に協力→4月7日記事化（＊）

## ④疑義言説モニタリングとデータベース化

- 6月～：疑義言説自動収集システム「Fact-Checking Console（FCC）」（スマートニュース株式会社、東北大学乾研究室の共同開発）が本格稼働し、疑義言説を会員サロン（Facebook非公開グループ）で会員・メディアパートナー向けに提供しました（11月まで月100件程度）。
- 12月～：疑義言説共有システム「ClaimMonitor2」（クレイムモニター2）の運用を開始しました。20年3月までの4ヶ月間で、800件を超える疑義言説データを集積し、会員・メディアパートナーに閲覧供用しました。
- メディアパートナー（BuzzFeed Japanなど）がクレイムモニターの情報を利用してファクトチェック記事化する成果がいくつも出ました。

## ⑤海外のファクトチェック団体との関係強化

- 9月：楊井理事が台湾ファクトチェックセンター（TFC）を訪問交流し、メディアパートナー加盟につながりました。
- 10月：楊井理事が韓国・ソウル大学ファクトチェックセンター（SNU FactCheck Center）を訪問し、FIJセミナー（1月11日開催）における事務局長ら韓国ファクトチェック関係者の招聘につながりました。

## ⑥国際会議への参加

- 第6回世界ファクトチェック会議（GlobalFact6、6月）では、立岩陽一郎副理事長が「アジアのファクトチェックネットワーク構築」と題するセッ

ションを主宰しました。3回目の参加で、FIJ側が初めてセッションを主宰することができました。

### (3) 会員の募集結果

- 第2期（19年1月～12月）は、正会員は16名・2法人、賛助会員は159名（うち学生97名）・4法人でした。賛助会員は、第1期（17年11月～12月）に比べ27%増となりました。
- 第3期（20年1月～）は、正会員は18名・3法人、賛助会員は155名（うち学生109名）・3法人となっています（3月末現在）。

## 第2 事業の実施に関する事項

### 1 特定非営利活動に係る事業

#### (1) ファクトチェックの質的向上のためのガイドライン等の整備・啓発事業

##### ① F I J セミナー等

本年度は、F I J セミナーを計4回開催しました。また、共催の研究会も1回開催しました（以下、講師の敬称は省略します）。

- FIJセミナー「偽情報対策に動き出す世界～活発化するファクトチェック」
  - 日時：6月23日 13:00～16:00
  - 会場：早稲田大学 3号館704教室（東京都新宿区）
  - 参加料：会員無料、非会員3000円
  - 講師：野嶋剛（ジャーナリスト）
  - 来場者：計45名（一般36名、登壇3名、役員2名、スタッフ4名）
- FIJセミナー「ファクトチェック実践報告～メディアの現場から」
  - 日時：9月28日 17:00～19:00
  - 会場：早稲田大学 7号館307教室（東京都新宿区）
  - 参加料：会員無料、非会員3000円
  - 講師：滝本匠（琉球新報）、横尾亮太（中京テレビ）など
  - 来場者：計30名（一般19名、登壇6名、役員3名、スタッフ3名）
- FIJセミナー「＜偽情報＞深まる脅威～最前線レポート」
  - 日時：12月5日 19:00～21:30
  - 会場：スマートニュース・イベントスペース（東京都渋谷区神宮前）
  - 参加料：会員無料、非会員3000円
  - 講師：平和博（桜美林大学教授）、一田和樹（作家）
  - 来場者：計34名（一般26名、登壇2名、役員3名、スタッフ3名）
- FIJセミナー「韓国メディアで広がるファクトチェック 日韓協力は可能か」
  - 日時：20年1月11日 14:00～17:45
  - 会場：早稲田大学 3号館801教室（東京都新宿区）
  - 共催：早稲田大学次世代ジャーナリズム・メディア研究所
  - 参加料：無料
  - 講師：チョン・ウンリョン（ソウル大学ファクトチェックセンター所長）、ソン・ヒョンジュン（全国言論労働組合首席副委員長）

- 来場者：計74名（一般64名、登壇2名、役員4名、スタッフ4名）
- ファクトチェック研究会「アジアにおける誤情報・偽情報とファクトチェック最新の動向」
  - 日時：10月19日 15:30～18:00
  - 会場：早稲田大学 早稲田キャンパス3号館 405教室
  - 共催：早稲田大学次世代ジャーナリズム・メディア研究所
  - 参加料：無料
  - 講師：鍛冶本正人（香港大学教授）、古田大輔（メディアコラボ代表）

## ②公式ウェブサイト等の運営

- 4月2日：国際ファクトチェック・デー特設ページを開設。
- 4月～：実験的ポータルサイト「COGITO(コギト)」(cogito.fij.info)で、ファクトチェック関連ニュースのリンク集を発信（6月からリニューアルした公式サイトトップページにタイムライン設置。現在は運用中止し、今後、新ポータルアプリ「FactCheck Navil」に引き継ぐ予定）
- 6月中旬：FIJのウェブサイト（fij.info）を全面的に刷新しました（旧サイトはarchive.fij.infoに移行）。
- 7月18日：参院選2019特集ページを開設。
- 11月～：gooニュース／dmenuニュースへの配信も開始。
- 20年2月3日：新型コロナウイルス特設サイトを開設。

## (2) ファクトチェックに関する国内外の団体及び市民との連携・協働事業

### ①メディアパートナー会議

- 2018年12月から有志のメディア関係者への呼びかけで非公式のメディアパートナー会議を数回に開催してきましたが、4月から正式なメディアパートナー募集を始め、5月下旬に国内外12団体の加盟を発表しました（20年3月末現在、計16団体（うち、海外4団体））。
- メディアパートナー会議を以下の通り実施しました。
  - 第1回
    - 日時：2019年6月1日15:00～
    - 会場：スマートニュース会議室
  - 第2回
    - 日時：2019年6月26日19:00～
    - 会場：スマートニュース会議室
    - 主な議題：
  - 第3回
    - 日時：2019年7月30日19:00～
    - 会場：中京テレビ東京支社会議室
  - 第4回
    - 日時：2019年11月7日19:00～
    - 会場：中京テレビ東京支社会議室
  - 第5回
    - 日時：2019年12月10日19:00～
    - 会場：スマートニュース会議室

## ②参議院議員選挙プロジェクト

- 経緯
  - 7月3日：プロジェクト開始の記者会見を開催
  - 7月18日：公式サイト内の特集ページに記事掲載を開始
  - 7月21日：投票日
- 成果
  - 4メディアが参加し（BuzzFeed Japan、琉球新報、ニュースのタネ、Wasegg）、記事化は9本（検証対象候補の言説は72件）。

## ③国際会議等への参加

- 第6回世界ファクトチェック会議
  - 開催日時：6月19日～21日
  - 主催：国際ファクトチェックネットワーク（IFCN）
  - 場所：南アフリカ・ケープタウン
  - 立岩理事・楊井理事が参加し、海外の関係者と交流し、セッションを主宰。6月23日のFIJセミナーで概要を報告した。
- アジアファクトチェックフォーラム
  - 開催日時：10月5日～6日
  - 主催：台湾ファクトチェックセンターなど
  - 場所：台湾・国立台湾大学
  - 立岩理事と古田大輔アドバイザーが講演し、FIJ公式サイトにレポートを掲載した（10月10日）。
- 第2回ファクトチェックコンテスト（韓国）
  - 開催日時：10月30日～11月1日
  - 主催：韓国放送記者協会
  - 場所：韓国・ソウル
  - 立岩理事・楊井理事が参加し、関係者と交流し、11月7日のメディアパートナー会議で概要を報告した。
- APAC Trusted Media Summit 2019
  - 開催日時：12月7日～9日
  - 主催：グーグル
  - 場所：シンガポール
  - 奥村理事が参加し、関係者と交流し、FIJ公式サイトにレポートを掲載した（20年1月3日）。

## ④ClaimMonitorプロジェクト

- 6月より、疑義言説自動収集システム「Fact-Checking Consoleシステム（FCC）」（スマートニュース株式会社、東北大学乾研究室の共同開発）が本格稼働しました。
- 4～11月までは、FCC等で覚知した疑義言説を会員サロン（Facebook非公開グループ）で共有していました（月100件程度）。
- 12月より、疑義言説データベースシステム「ClaimMonitor2」（クレイムモニター2）の運用を開始し、2020年1月からメディアパートナー、会員にも閲覧供用を開始しました。旧クレイムモニター（2018年稼働）に比べ、作業

性・視認性が大幅に向上し、一般通報の反映、新着情報の自動通知といった機能が装備されました。

#### ⑤サポーター制度

- 学生を中心とするFIJ会員（サポーター、モデレーター）にFCCを活用して疑義言説を特定し、クレームモニターにデータを登録する業務の委託を開始しました。業務を委託する会員に対し、ファクトチェックの基礎的な研修も実施しました。

#### ⑥新型コロナウイルス国際協力プロジェクト

- 20年3月より、日本財団の助成を受け、国内外のメディア・団体等と連携して、新型コロナウイルス関連の誤情報・偽情報を対象とするファクトチェックの調査に協力するプロジェクトを開始した。
- 新たに学生を主体とした20名超のメンバーに、ファクトチェックの基礎に関する研修を実施しつつ、疑義言説の覚知、調査、レポート作成、ウェブサイト更新などに取り組んだ。（\*プロジェクトは3月中旬からスタートしていますが、事業費は2020年度に計上しています）

※ なお、「ファクトチェックに貢献する団体・個人に対する評価・支援事業」は、本年度は実施しておりません。

※ 以上、「特定非営利活動に係る事業」の事業費は総額379万円となりました。

## 2 その他の事業

該当なし

## 第3 会議の開催に関する事項

### 1 社員総会

本年度は社員総会を2回開催しました。通常総会では、第1期役員任期満了に伴う役員改選を行いました。

#### (1) 2019年度通常総会

- 日時：2019年6月1日 13:15～14:45
- 場所：スマートニュース会議室
- 議案：前年度事業報告・決算報告、新年度事業計画・予算・役員改選など

#### (2) 2019年度第1回臨時総会

- 日時：2020年1月11日 10:10～10:25
- 場所：早稲田大学早稲田キャンパス 3号館 812教室
- 議案：2018年度決算(訂正)

### 2 理事会

本年度は理事会を4回開催しました。第2期理事会が6月1日より発足しました。

**(1) 第1期第5回理事会（2019年5月19日）**

- 主な議題：活動報告、主たる事務所所在地の変更、メディアパートナー制度

**(2) 第2期第1回理事会（2019年6月1日）**

- 主な議題：正副理事長選出、委員会設置

**(3) 第2期第2回理事会（2019年9月28日）**

- 主な議題：活動報告、正会員の有効期間変更、会員の入会拒否事由

**(4) 第2期第3回理事会（2020年1月11日）**

- 主な議題：活動報告、ガイドラインの改定手続きについて

以上